

カエルの悲劇



- 水と熱い湯を入れた鍋を二つ用意する。
- 蛙を熱い湯に入れると、驚いて飛び上がる。
- しかし、冷たい水の中にいる状態で、鍋を徐々に過熱すると、蛙は静かなままだ。
- 蛙は変温動物なので、徐々に熱くなっていくお湯の中では、蛙の神経は感覚を失うからだ。蛙は熱くなっていくお湯の中で危機を感じず、適応しようと努力していくうちに神経が無感覚になり、完全に煮られて死んでしまうのである。
- 迫ってくる危険を知らずに、死んでいく蛙を見ながら、私たちは一つの教訓を得る。だが、実際に自分たちに迫ってくる危険を感知できる人はそう多くない。